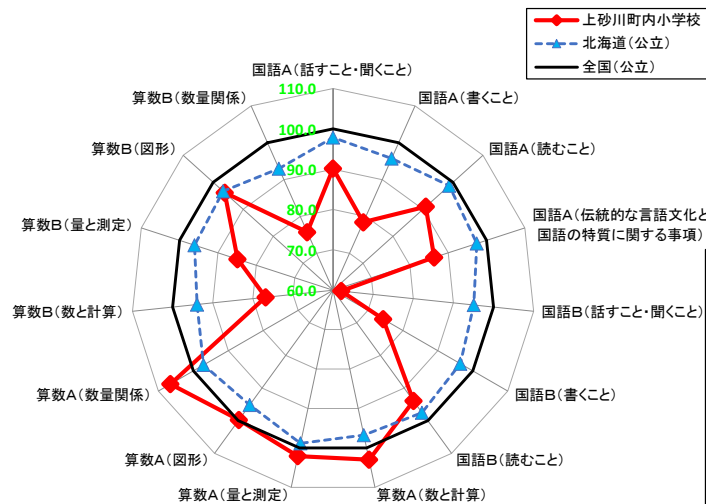


■上砂川町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1、児童数:21名)

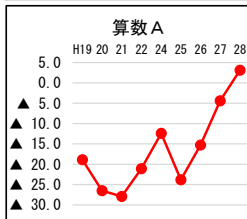
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

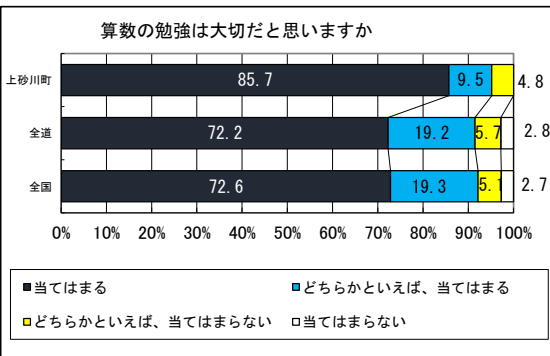
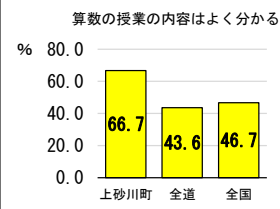


【平均正答率の全国との差の推移】

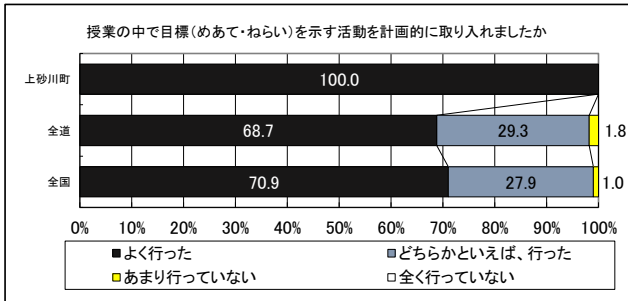
※「平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化



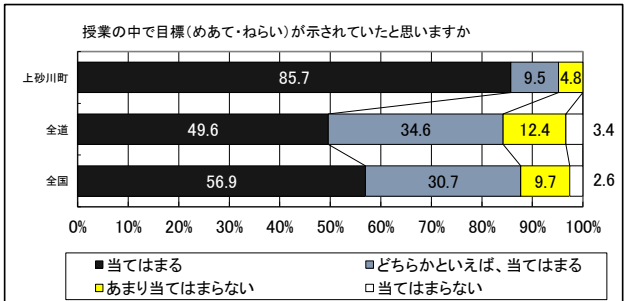
【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Bでは「読むこと」が他領域に比べ、全国に最も近くなっている。 ○ 算数Aでは「数と計算」、「量と測定」、「数量関係」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れる取組をよく行った結果、算数の授業の内容がよく分かる児童が増え、算数Aの「数と計算」、「量と測定」、「数量関係」において、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか」という質問に対して、「当てはまる」と回答した児童の割合が全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校が組織的に授業の中で目標(めあて・ねらい)を示すとともに、民間の学習塾と連携した補充的な学習に取り組んだ結果、算数の授業の内容がよく分かるようになり、算数の勉強は大切だと思う児童が全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れる取組をよく行っている。 	

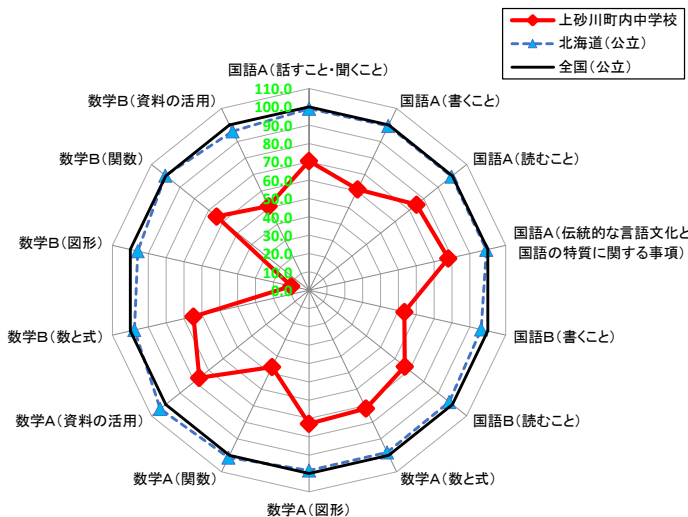
【上砂川町の学力向上策】

- ◎ 民間の学習塾と連携し、小学校高学年児童及び中学生を対象とした公設学習塾を開設
- ◎ 小学校において、民間の学習塾の協力を得て1泊2日の合宿ゼミを実施
- ◎ 放課後子ども教室において、週2回の学習指導を実施
- ◎ 全児童に漢字検定の検定料を助成

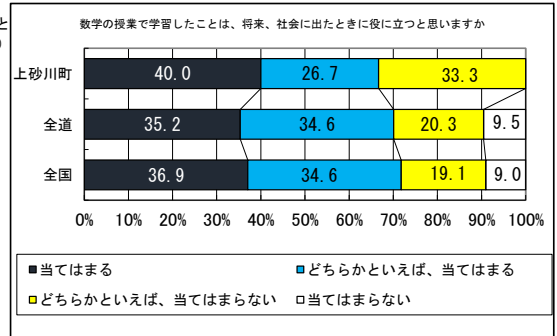
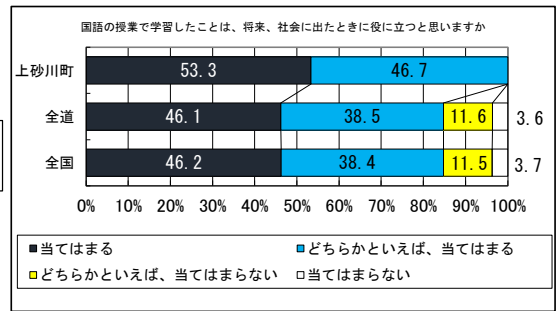
■上砂川町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1、生徒数:15名)

【教科全体の状況】

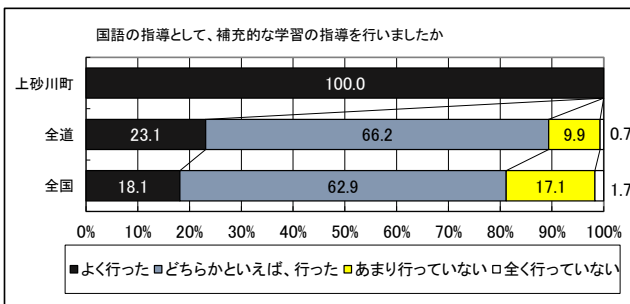
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



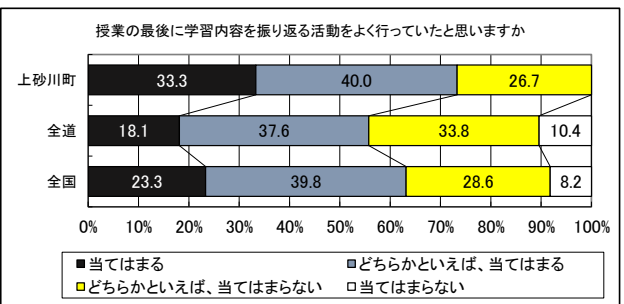
【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で他領域に比べ、全国に最も近くなっている。 ○ 数学Aでは「資料の活用」で他領域に比べ、全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の指導として、基礎・基本の定着を図るための補充的な学習の指導をよく行った結果、国語Aの「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」において、全国に最も近くなったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか」という質問に対して、「当てはまる」と回答した生徒の割合が全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校が組織的に授業の最後に学習内容を振り返る活動や学ぶ意義の指導をよく行ったり、町教委が学校と連携して、民間の学習塾と連携した補充的な学習に取り組んだりした結果、国語と数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う生徒が全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の指導として、補充的な学習の指導をよく行っている。 	

【上砂川町の学力向上策】

- ◎ 民間の学習塾と連携し、小学校高学年児童及び中学生を対象とした公設学習塾を開設
- ◎ 中学生に対し、各種検定料を助成